



著者◎ヘンリ・ナウエン

カトリック司祭。キリスト教霊性についての作家。イエール大学、ハーバード大学で教えたのち、ラルシュ・コミュニティの牧者として知的障がいを負った仲間と生活をする。邦訳書：『イエスの御名で』『いま、ここに生きる』『愛されている者の生活』『放蕩息子の帰郷』（以上あめんどう他多数）

訳者◎塚本良樹

キリスト者学生会（KGK）副総主事・卒業生宣教局長。多摩ニュータウンキリスト教会協力牧師、聖書プロジェクト日本語版 Language Advisor、聖学院大学非常勤講師。

ファンドレイジングの霊性

寄付を募るといふこと

著者：ヘンリ・ナウエン

訳者：塚本良樹

ISBN978-4-900677-49-4

C0016 ¥1000E

四六判 88頁 並製

定価 1,100円（本体1000円）

【目次】

はじめに——スー・モステラー CSJ
 感謝の言葉——ジョン・S・モガブガ
 ミニストーリーとしてのファンドレイジング
 神の王国が現れるのを助ける
 私たちの安全の土台
 富んでいる人たち
 寄付を募るといふこと
 新しい交わり
 祈りと感謝
 御国が来ますように

◎ 寄付を募る課題を、霊性の角度から考えることはめったにありません。霊的働きを支援する必要があるにしても、どちらかと言えばあまり心地よい活動ではないと考える人もいるかもしれません。

◎ そして多くの場合、それは危機への対応として実行されます。「必要なお金が足りません。寄付を集めなければなりません」と。そうやって初めて、そのようなことに自分たちが慣れていないと気づくのです。

◎ ナウエンが語るファンドレイジングに対するヴィジョンは、実体験からもたらされたものです。そして彼はこう言います。「寄付を募ることは、説教を語ったり、祈る時間を取ったり、病人を見舞ったり、飢えた人に食事を提供したりするのと同じく霊的な事柄です。ファンドレイジングは第一の、何よりも重要なミニストーリーの一つです」。